朝霞市中心市街地活性化基本計画

～地域いきいき・人々行き交い・集いふれあい・にぎわい彩霞～

≪ 概 要 版 ≫

平成１６年３月

朝霞市

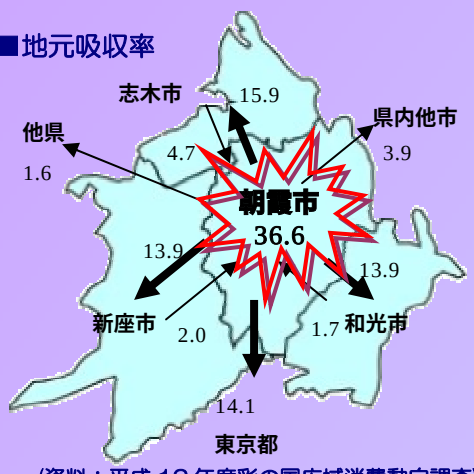
朝霞市商業の現状

朝霞市は、東京都心に近接するベッドタウンとして発展し、東武東上線朝霞駅を中心として市民の日常生活を支える行政機能や商業機能が集積していました。

しかし、市の外縁部や隣接市で住宅団地や商業機能の整備が進められてきていることや、中心市街地内店舗の老朽化などが相まって、中心市街地の求心性は薄れつつあります。市全体をみると、地元吸収率*が36.6%と、*市民の約３人に２人は市外へ買物に出かけている*状況となっています。

※地元吸収率：朝霞市民が朝霞市内で買物をする割合

■地元吸収率

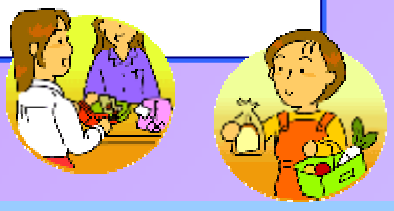


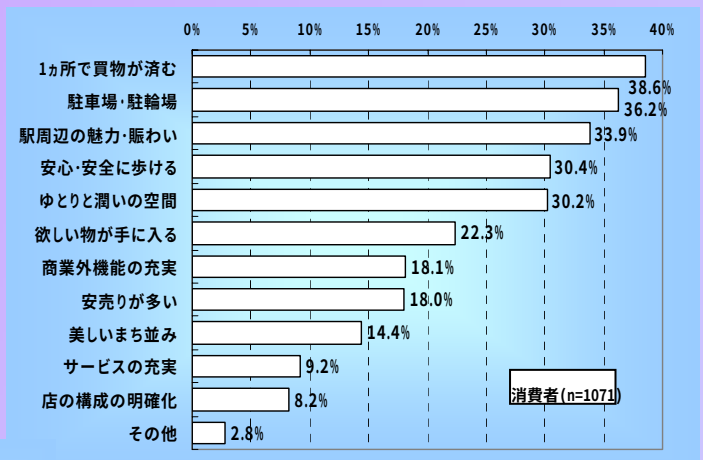
(資料：平成１２年度彩の国広域消費動向調査)

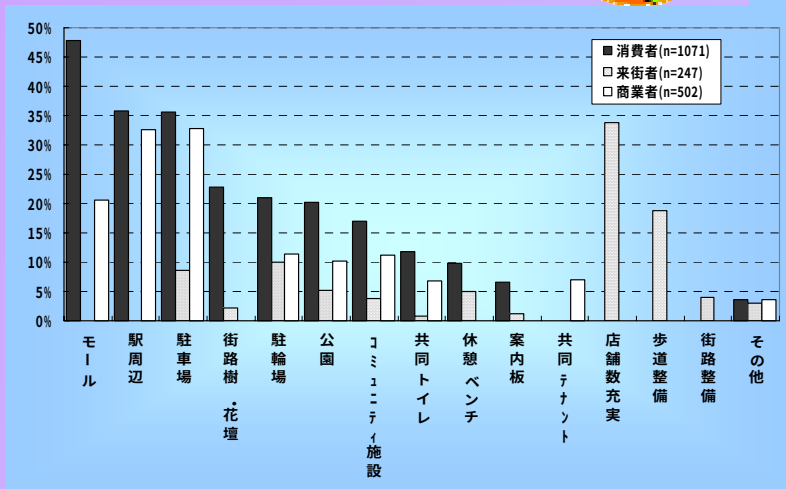
朝霞市商業に求められるもの（朝霞市商業実態調査）

■朝霞市の商業地への要望

商店街の充実により、利便性が高く来やすい、魅力的な商業地が求められています。







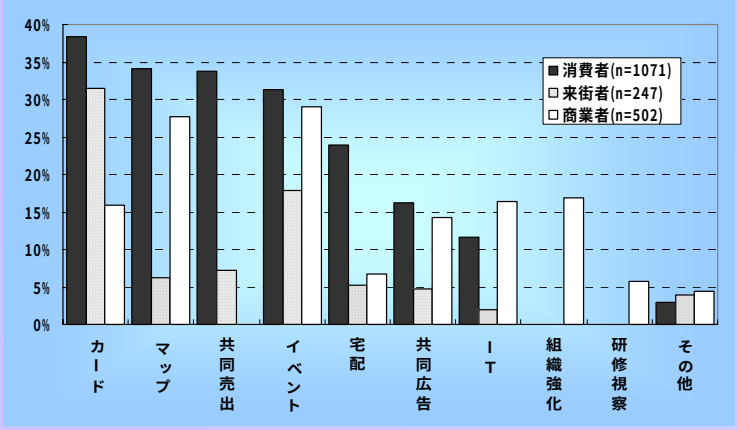
■活性化に必要なハード事業

朝霞駅周辺整備、商業集積強化や駐車場等が消費者･商業者双方から求められています。

【朝霞駅前】
多くの乗降客を抱えている

■活性化に必要なソフト事業

ポイントカード事業、商店街マップの作成などが消費者･商業者双方から多く求められています。



(資料：朝霞市商業実態調査　平成１５年３月)

朝霞市中心市街地活性化に向けて

活性化に向けた課題

朝霞市中心市街地活性化に向けての課題は、商業等の実態及び中心市街地の整備の視点から、次の８つが考えられます。

目指すべき目標

市街地整備を契機とした多様な生活の場・交流の場づくりを行いながら、商店街と地域の連携により、にぎわいづくりを進めます。

地域いきいき･
人々行き交い･
集いふれあい･
にぎわい彩霞

どう取組むか（基本方針と施策体系）

商業等の活性化に関する事項

魅力と活力のある商店街づくり
- 消費者の要求にこたえる商品やサービスの提供
  - ･･･ショッピングモールの整備など
- 販売促進活動や情報発信の強化・充実
  - ･･･ポイントカード事業の導入など
- 快適性向上を図るための環境整備
  - ･･･商店街のまち並み整備など

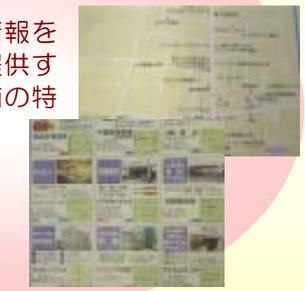
地域社会と連携した商店街づくり
- 地域社会との連携
  - ･･･町内会や学校等との連携など
- 日常生活の支援サービス
  - ･･･宅配サービスの展開など

中心市街地活性化を推進する仕組みづくり
- 中心市街地活性化に関する調査・研究
- 商店街の活力を創造するための人材等の育成・強化
  - ･･･商人塾の開催など
- 活性化推進組織の設立・充実
  - ･･･ＴＭＯの設立など

取組み例（事業展開）

商店街マップの作成

商店街やまちの情報を広く市民などに提供するために、各店舗の特色やサービス内容などを集約した商店街マップの作成を進めます。



（資料：四街道市商店街マップ）

共同イベントの展開

中心市街地内の商店会が一丸となり、集客効果のあるイベントを共同で展開します。市民が参加・体験できるイベントや、季節感あふれる飾り付けなどの企画運営を進めます。

商店街美化の促進

安全で快適に買物ができる地域環境づくりのために、住民と商店街の協力のもと、放置自転車の整理や清掃活動を充実し、美しい商店街づくりを支援します。

ＴＭＯ*の設立

商業などの活性化に関する事業の具体的検討とその推進体制について検討を行い、ＴＭＯ構想を策定し、活性化をコーディネートする*ＴＭＯの設立を進めます。

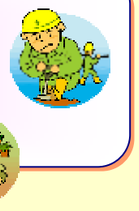
※ＴＭＯ（Town Management Organization）：
中心市街地の商業全体を一つのショッピングモールとして捉え、一体的に運営するための組織のこと。行政や民間業者だけでは出来にくい事業等を官民連携し、機動的に実施できる利点がある。

中心市街地の課題を解消し、目標を実現するため、活性化に向けた６つの基本方針を設定します。基本方針をふまえ、商業等の活性化並びに、市街地の整備改善に向けた施策を設定します。

市街地の整備改善に関する事項

魅力ある都市基盤づくり

- 朝霞駅周辺整備事業の推進
  - **・・・都市計画道路や駅前広場の整備推進など**
- 公園等の整備促進



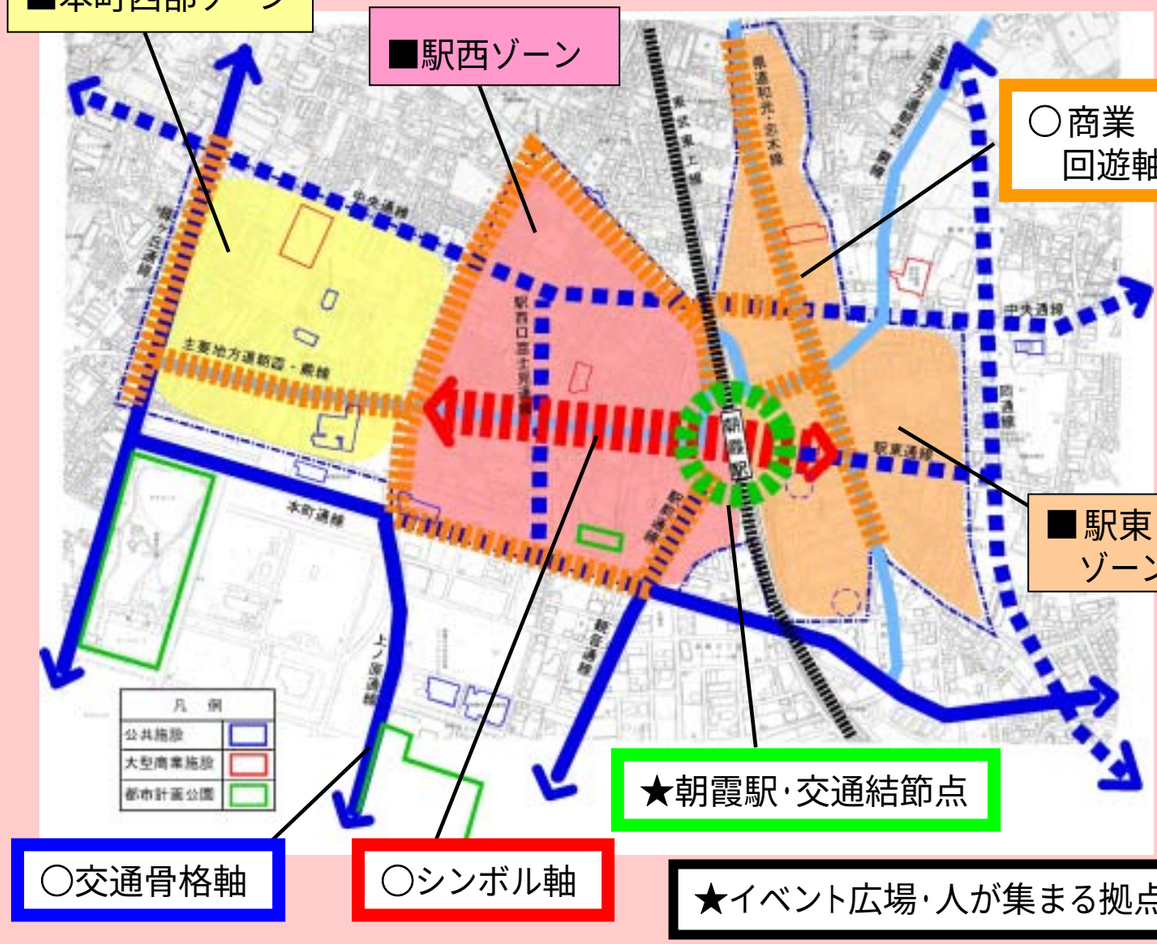
来街者への利便性に配慮した環境づくり

- 回遊性向上に配慮した空間づくり
  - **・・・歩行空間の整備・バリアフリー化の推進など**
- 交通ネットワークの改善・強化
  - **・・・バスルートの見直しなど**

中心市街地内での生活を支援する施設づくり

- 良好な住宅地の形成
- 快適な居住支援施設の充実
  - **・・・育児支援施設の整備など**

中心市街地の将来構造図



■ゾーン

土地利用の状況や地元活動のまとまりなどを考慮し、地域の特性に基づいた、良好な環境づくりや賑わいづくりに向けた取り組みを進めます。

○軸

既存施設等の立地状況や人々の流れの状況等を考慮し、より多くの人の流れや交流を生み出す検討を行い、特性を踏まえた魅力と活気ある沿道市街地づくりや回遊性創出に向けた取組みを進めます。

★拠点

既に人々が集まる場所では、より快適に憩い、集える場として、活発な交流を行うための環境づくりを進めます。また、新たな賑わい・交流を生み出すため、人が集まる場づくりを検討します。

都市計画道路や駅前広場の整備推進

周辺地域から中心市街地への自動車交通の利便性向上のために都市計画道路や駅前広場の整備を進めます。
特に駅前広場は、まちの顔づくりに努めます。

地下駐輪場の整備推進

中心市街地の玄関口となる朝霞駅において、自転車利用者の利便性向上のために、駅前広場の地下に自転車駐輪場の整備を進めます。

歩行空間の整備 バリアフリー化の推進

歩行者に危険性が感じられる商店会において、歩きやすい環境づくりに向けた合意形成を進め、ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間の整備に努めます。

育児支援施設整備の促進

空き店舗など既存施設の活用をはじめとした、一時預かり託児所や育児支援サービスを提供する施設の整備を検討します。

・・・など、一体的な事業展開をめざします

中心市街地の区域（中心市街地活性化基本計画を進める区域）

交通結節点である朝霞駅周辺地区は、商業集積がなされており、駅を中心に放射状に発展をしてきました。長い歴史の中で市の中心市街地としての役割を担ってきた地区であり、「第３次朝霞市*総合振興計画」においても、中心商業地区として位置づけられています。

また、朝霞市商業振興ビジョンでは、本市の商業振興に向けた重点施策として、中心市街地活性化プロジェクトが位置づけられています。

※総合振興計画：市の長期的なまちづくりの方針、将来像などを総合的、体系的に示す市の根幹となる計画

■中心市街地の区域

（資料：朝霞市都市計画図）

■商店会分布

【商店会分布】

朝霞駅を中心に朝霞市の中心商店会が形成されている。

【範囲】 朝霞駅を中心に形成されている３商店会エリア及び商業系用途地域を含む区域
【面積】 約５７．０ｈａ

朝霞市中心市街地が担う役割

朝霞市全体の活力再生を牽引

中心市街地において、多様な機能の充実、生活の質の向上を図ることにより、朝霞市全体の経済活動が活発になり、都市全体の活力再生を牽引することが求められます。

市の玄関口としての役割

道路網や駅前広場の整備を通し、来街者・市民にとって魅力的なまちの顔づくり。

文化の中心としての役割

各種機能が充実し、当該施設利用者の利便性の高い、市の文化活動の中心づくり。

生活の中心としての役割

駅や周辺公共施設などの利用者を取り込みながら、多様な生活の場づくり。

施策展開に向けた考え方

各取組み事業を **戦略的かつ効果的に展開** することが求められます。また、消費者に対して、活性化に向けてまちが“動き”、“変化”していることをアピールすることにより、 **来街促進と多彩な人の参画によるまちづくり** を行います。

基盤づくり

市民にアピール

できることから取組む

推進体制づくり

中心市街地活性化に向けた事業の継続的な展開

継続的な取組みに向けた役割分担（施策推進体制）

市民等の役割

イベントなどへの積極的な参加や、まちづくりについて考えるなど、様々な事業に関心をもち、市民などとして望ましい事業の実現へ誘導します。

行政の役割

都市基盤整備などを進めると共に、商業者や市民、ＴＭＯなどのまちづくり活動への柔軟かつ迅速な対応、適切な支援や助言などを行い、事業の実現を促進します。

総合的な活性化推進組織【ＴＭＯ】の役割

専門的かつ統括的に中心市街地活性化に従事する機関として、まちづくりの総合的な調整を行います。

商店会・商業者等の役割

ＴＭＯ、商店会・商業者間、また地域住民などとの連携を深め、サービス向上やイメージアップを図り、消費者に指示される魅力ある商店街・個店づくりを実践します。

商工会の役割

各種事業に関する情報発信や活動支援などを行い、行政や商店会・商業者などと連携・協力しつつ、活性化事業を積極的に先導していきます。

平成１６年３月
朝霞市市民環境部商工農政課
〒351-8501　埼玉県朝霞市本町１丁目１番１号
電話番号　048-463-1111（内線 2243）